

課題対応取組み報告書

【共通】

名称	南津守地域総合相談窓口
提出日	令和 6 年 6 月 20 日

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	☒ 地域や専門職とのつながり等	☐ 社会資源の創設（居場所づくり等）
	☐ 認知症高齢者等の支援	☐ 自立支援・介護予防・健康づくり等
	☐ その他（ ）	
活動テーマ	高齢化が進む地域への支援体制の構築	
地域ケア会議から 見えてきた課題	前年度のケア会議以降、地域の関係者の方からの相談は増加したが、症状が進行した状態で相談機関に繋がる事が多い。早期発見・対応が出来るような仕組みづくりが必要	
対象	地域住民	
地域特性	南津守地域は南北に長く、工場跡地にファミリー向けの建売住宅が増えた事で、年少人口の増加も見られる。ただ北部・中央部に市営住宅、南部にはワンルームマンションが多く、そこでの居住者は一人暮らしの高齢者や、高齢者世帯の転入が多く、地域との交流が希薄で孤立化が目立つ。	
活動目標	いつでも、誰でも何でも言える関係の構築	
活動内容 (具体的取組み)	自治会役員、区役所高齢福祉、見守り支援室、生活支援コーディネーター、包括と早期発見・対応する為の支援体制についてケア会議を開催。現在、自治会役員として困っている事を聞かせてもらい、情報がきちんと回らない事や、集会場が活用されていない事が分かる。	
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	今後、自治会の役員会議へ参加させてもらい、情報共有していく事、また集会場を活用させてもらい、包括支援センターと共同で出張相談会を開催させてもらう事となる。	
今後の課題	今回は一地域の自治会でのケア会議だったので、後は他地域でも同様にケア会議を開催していく事が必要と思われる。それぞれの地域単位での課題を浮き彫りにしていく必要がある。	
※以下は、区運営協議会事務局にて記入		
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和6年7月22日(月)	
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	☒ 地域性 ☒ 継続性 ☒ 浸透性・拡張性 ☒ 専門性 ☒ 独自性	
評価できる項目（特性） についてのコメント * 今後の取組み継続に向けて、区 地域包括支援センター運営協議会 からの意見等を記載。	症状が進行した状態で相談に繋がることが多い中、自治会の役員会議へ参加し、困りごとを把握している。集会場の活用についても検討し、包括支援センターと共同し出張相談会を開催する等早期発見、対応できる仕組みづくりは高く評価できる。	